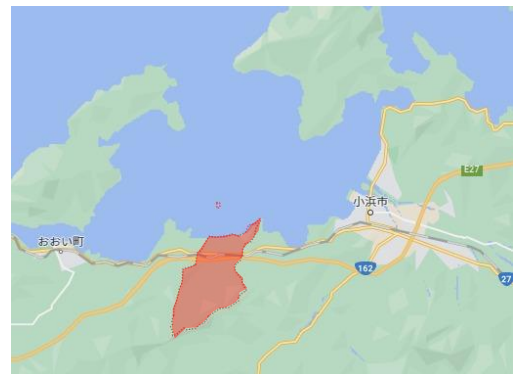


獣害対策リーダー育成のもと地域全体で取り組む獣害対策

小浜市飯盛地区（法海・黒駒・荒木）は、三方を山で囲まれておりながら舞鶴若狭自動車道、国道 27 号線、西街道（基幹農道）の道路や JR 小浜線が東西に走っており、獣の侵入を防ぎにくい地形である。しかしながら、地域の農業生産法人による農業経営が行われているため獣害対策が緊急の課題であったことや、サルを中心とした生活被害が問題となっていたことから、地域全体で徹底的に獣害対策を実施するとともに、獣害対策リーダーの育成にも成功した。

地区の概要

地区名	小浜市飯盛地区
戸数	130 戸（うち農家 78 戸）
人口	400 人
耕作面積	54 ヘクタール
主な生産物	水稻
対策開始年度	令和元年度から



小浜市飯盛地区の地図

被害の状況と課題

- 国庫補助事業等で山際に恒久金網柵を設置したことにより、シカ・イノシシの被害はある程度低減したが、複雑な地形のため、どうしても侵入を防ぎきれない箇所が複数あった。
- サルが集落内に出没し、農業・生活被害が絶えなかった。
- 集落により、獣害対策に対する意識の違いがあり、地域全体による取り組みへの意識の醸成が必要であった。
- また、柿の木や栗の木等の放任果樹が増加し、サルによる食害もあったため、それらの樹木の伐採も必要であった。
- 上記の問題があったため、地域の被害対策を牽引する獣害対策リーダーが必要であった。



夜間に山際から侵入するシカ



集落に出没するサル

取組の内容

【地域ぐるみの体制づくり】

- ・ 地域住民を対象に獣害対策の研修を実施した。
令和2年2月：サル追い払い活動用機材利用に関する研修会（3集落実施）
令和2年3月：集落点検研修会（3集落実施）
- ・ 飯盛地区の各集落で獣害対策の研修を実施したことによりサル対策や集落点検の意識が高まり、地区全体で獣害対策を行うことの重要性を認識することができた。
- ・ 県嶺南振興局の事業（サル追い払い対策実証事業）を活用することにより、飯盛地区に追い払い用電動エアガンが整備され、地域ぐるみでサルを追い払う体制が整った。



集落点検研修会の様子（法海）

【獣害対策リーダーの活躍】

- ・ 令和3年1～2月に県が開催した「福井県鳥獣害対策人材育成カレッジ」に地区から3名が参加し、獣害対策リーダーの育成につなげた。
- ・ リーダーAは、自ら飯盛地区に出没するサルの発信機の電波を受信し、サルの群れ襲来にあわせて追い払いを実施している。
- ・ リーダーBは、農業生産法人の代表者であり、センサーカメラ設置による獣侵入箇所の特特定など農作物被害対策の目線で地区内の獣害対策を指導している。
- ・ リーダーCは、市の事業（生活保全林整備事業）を活用し令和3年度から緩衝帯整備を行っている [R3：750m 整備]。



獣害対策リーダーとの打ち合わせ

【放任果樹の伐採】

- ・ 放任果樹伐採の機運が高まり令和2～3年に計170本伐採した。

取組の成果

【被害額】

（単位：千円）

平成30年	平成31年		令和元年		令和2年		令和3年	
実施前	実績	増減	実績	増減	実績	増減	実績	増減
130	0	▲130	0	—	0	—	0	—

地域ぐるみによる活動

- ・ 令和元年以降、被害をゼロに抑えている。

集落の意見

- ・ 地域全体で取り組むことにより効率的に対応することができるようになった。
- ・ 特にサル群れが寄り付きにくくなっている。

今後の課題・取組

- ・ 恒久金網柵の更新の時期にきており、設置箇所も含めて検討する必要がある。
- ・ 今後も、地域ぐるみの対策が継続されるよう、県・市と連携しながら勉強会等を継続して実施していく。
- ・ 加斗地区（旧村単位）全体で取り組みを広げていきたい。